

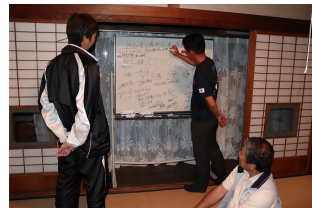
5年後、片江は国際交流村と呼ばれてる、かも!!



2月9日

ノルウエーから十二人
片江に来てくれました!

ゲストハウス
かたろ庵
かわら版
創刊号
平成31年2月



かたろ庵作戦会議

ご挨拶
ゲストハウス

代表 青戸裕司
かたろ庵 (旧先の家)

私達家族は片江で約十年間
この地に住ませていただきました。
素晴らしい自然の中で、墨付け祭り
や様々な場面でたくさんの方々を知
り合うことができました。
そして子どもたちも親も皆さんのお
陰でどれだけ素晴らしい日々を過ご
せたか。
改めて思い起こし、その皆様の熱い
情愛に感謝申し上げます。

今でも片江への愛着は変
わらず、近年、「先の家」
を生かしたいと考えるよう
になりました。

そして昨年9月区長さん
婦人会の方やPTAでお世
話になった方などに、この
家に来ていただきました。
そして私が考えていること
をお話しし、そして片江の
未来について酒を交わしな
がらアイデアを一緒に考え
ました。
そして毎月ここで気楽な会
を開きそこで合意や協力体
制を確認しながら実行でき
ることから始めました。

そこで今回ノルウエーの
方を片江に十二名招き、片
江の方々の協力で、短い
ながらも内容の濃い交流が
できました。その報告を写
真を中心にお伝えします。

私はこの地に住んでい
る時から片江の方のお話
を聞くたびに感じるのは
大海原を駆け巡る強い生
命力と世界を身近に感じ
る経験値、そして何とい
っても墨付け祭りの団結
力です。

これを源泉とする新たな
村おこしが期待できるの
ではないか。

私のその仮説は今回見事
に確信へととなり、潜在的な
底力とこの地の可能性が
大きく広がってきましたが

家庭料理は最高のオ・モ・テ・ナ・シ



竹のワークショップ



↑宮崎てつとさん協力
プロモーションビデオ

残念ながらながら今回はこ
こを宿泊施設として使うこ
とはできませんでした。
昨年の3月から保健所・消
防署・建築課を回り、大き
なハードルがあることがわ
かりました。
しかし、購入時にすでに
紛失していた先の家の図面
は私の一級建築士の友人が
無償で協力。プロモーション
用の空撮もまた友人が無
償で協力。そして町内の方
々も今回だけでなく、様々
なご援助をいただいております。
現在、建築基準を満たす
改築費は、インターネット
で公募する仕組みを準備中
です。
どれだけお金が集まる
かは、どれだけ魅力のあ
る片江としてアピールで
きるかによります。
かたろ庵の前で写した今回
の写真・家庭料理での写真
・そして片江湾空撮のプロ
モーションビデオは大きな
アピールの力となります。
どうかご理解をいただき、
今後ともよろしく願いま
す。